

平成29年度第1回姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会（平成29年9月7日開催）

（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会（以下「交流協会」という。）の事業内容について意見交換を行った結果、次回の会議までに委員長・副委員長・事務局にて、交流協会の事業内容・組織体制・運営方法・スキーム等について、「たたき台」を作り、次回はその「たたき台」を基に、検討を進めていくことが決定した。

1. 事業内容について

交流協会の事業内容等について意見交換を行った。

（主な意見）

■観光分野との連携について

- ・実際に人の行き来がでてくると観光的な要素が非常に大事になってくると思う。
- ・観光との絡みを加え、何かコラボなどで、ユニークなものができるが良い。

■交流事業について

- ・海外との想定される交流事業は、海外姉妹都市検討市民会議の提言書で挙げられているので、その中から実施できるものを優先順位を含めて検討するのが良い。
- ・国内の姉妹都市・友好都市については、既に交流事業として実施されているものがあるので、その中から、交流協会の事業とするのかしないのかを検討するのが良い。（交流事業の市の所管部署や概ねの予算額等について次回の会議までに洗い出ししてほしい）

- ・留学生を小学校に招き、学校生活の体験を通して交流をしたり、観光協会と協力して市内を案内してあげるのも良い
- ・あれもこれもと初めから実施するのは無理なので、何か1つに絞ってそこからスタートのが良い。
- ・海外姉妹都市へ行く場合の観光的な要素を含めたルートを検討すると良い。

■国際化事業について

- ・稲城国際交流の会で国際化事業を実施してきたが、会員の高齢化の影響もあるので、交流協会ができればそこに合流してやっていただきたい。
- ・国際交流という部分で「支援」か、「交流」かという考えがあるが、交流協会最初から一緒に実施するのは難しいと思うので、「支援」か「交流」かのどちらかに絞ってスタートするのが良いと思う。

■他市の調査について

- ・比較的規模が近い自治体に予算や事業内容・失敗事例等を聞くと良い。

■組織について

- ・しっかりとした推進の組織をどう作るというのが鍵

【結論】

次回の会議までに委員長・副委員長・事務局にて、交流協会の事業内容・組織体制・運営方法・スキーム等について、「たたき台」を作り、次回はその「たたき台」を基に、検討を進めていくことが決定した。